

講義名	旅行业経営論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	山川 拓也		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	43112

### 主題と概要

世界の国際観光客到着数に関する国連世界観光機関（UNWTO）の分析によると、2020年の時点で年間約14億人、2030年の時点では年間約18億人に拡大すると予測されています。そして、一層の発展が期待されている観光産業において、「旅行業」は重要な役割を担う必要があると考えられます。この科目では、旅行業の成り立ちや基本特性、旅行市場や旅行業を取り巻く世界的変化、それに対応した旅行会社の経営やビジネスモデルの広がりや変革などについて、幅広く解説していきます。

### 到達目標

授業での内容を踏まえて、現代の旅行事業システムと産業構造に関する基本的な理解と知識を得る。将来における旅行事業経営の在り方や方向性に関する気づきを得て、自らの考えによる何かしらの提案や提言の類が表明・説明できるようになる。

### 提出課題

毎回の授業時に配布する『板書・要点記入シート』（出欠確認を兼ねるので、翌週の授業で提出してもらいます）  
 期末レポート（テーマなどの詳細については、授業の中で説明します）

### 評価の基準

平常点（出欠確認を兼ねた毎回の課題提出と記述量）： 15%  
 期末レポート： 35%  
 定期試験： 50%  
 上記基準をもとにした総合評価とします。尚、正当な理由なき遅刻や早退、スマホなど電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語・睡眠・着帽の継続、その他、教員からの指示に従わないなどについては、受講態度不良・授業妨害行為と判断し、上記とは関係なく成績評価に重大な影響を及ぼします。

### 履修にあたっての注意・助言他

20年以上にわたる旅行業界での現場経験を踏まえながら、「楽しく真面目に、真面目に楽しく」を心掛けた授業を行っていきたいと思います。ただ、これを実践して成功させようとする場合は、教員が一方的に授業を展開するのではなく、履修する学生の皆さんとの共同作業で削り上げなければなりません。大学という「学びの場」に相応しい環境を提供するためにも、皆さんの積極的な協力を宜しくお願いします。とは言え、かなり専門的内容を含んだ授業になります。したがって、旅行業への就業希望者ならびに旅行ビジネス研究に関心が高い人でない限り、苦しい科目になると思います。その点を考慮した上で履修を検討してください。

### 教科書

・使用しない。

### プリント資料及び参考文献

プリント資料： 各時間、「板書・要点記入シート」を配布し、講義形式の際にはパワーポイントを使用して授業を実施する。

参考文献： 立教大学観光学部旅行産業研究会編著 『旅行産業論』 公益財団法人日本交通公社

### 授業計画

1. ガイダンス（科目ならびに授業の概要説明）/ 旅行事業経営論の視点と論点 / 「旅行・観光産業とは」
2. 旅の質的变化と旅行業創生 / 近代的旅行業の始まり
3. 旅行業の自律的産業への過程 / 旅行業法
4. 旅行契約形態 / 旅行商品のバリューチェーン / 企画旅行商品 / 旅行会社の形態
5. 旅行業における商品および経営の特性 / 旅行業における財務の特質
6. 国内旅行市場の変遷と現状 / 海外旅行市場の変遷と現状
7. 旅行市場の質的变化と影響 / 旅行市場の成熟化とFIT / LCCがもたらす旅行市場の変化
8. 旅行会社のビジネス展開（B to C）\*店頭販売、メディア販売、OTAについて講義予定
9. 旅行会社のビジネス展開（B to B）\*BTM、法人営業、MICEについて講義予定
10. インバウンド旅行市場の変遷と現状 / インバウンド旅行事業の実際と課題
11. 旅行会社のシステムの概要 / 世界の旅行関連システム
12. 世界の旅行会社のビジネスモデル / 日本の旅行会社とグローバル化
13. 業界構造と戦略モデル / 事業開発戦略の意義と方向性
14. 着地型観光・地域交流ビジネス
15. 旅行業が観光の中で果たすべき役割 / 旅行業の未来像と求められる人材

### 予習・復習

（予習）旅行会社のビジネスに関する話題・事例に関心を持ち、情報収集のアンテナを張るようにしてください。（復習）授業時に配布する『板書・要点記入シート』を整理し、復習に努めてください。出欠確認・課題を兼ねるので、翌週の授業で提出してもらいます。

### 備考